(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和6年 6月 18日

(あて先) 宇都宮市長 佐藤 栄一 殿

提出者

住 所 埼玉県さいたま市大宮区木町4-247 0Sビル6階

氏 名 東鉄工業株式会社 執行役員支店長 小川 永一 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 048-631-3500

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他 その処理に関する計画を作成したので、提出します。

j		次 U/C * C
事	業場の名称	東鉄工業株式会社 埼玉支店
事	業場の所在地	さいたま市大宮区桜木町4-247 OSビル6階
計	画 期 間	令和6年4月1日から 令和7年3月31まで
当計	亥事業場において現に行	っている事業に関する事項
	①事業の種類	06 総合工事業
	②事業の規模	17,505百万円
	③ 従 業 員 数	2 4 9名
	④産業廃棄物の一連 の処理の工程	※全て産業廃棄物処理委託業者に委託 汚泥 → 脱水 → 再利用 廃油 → 焼却 → 再利用 廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器 類くず → 破砕・圧縮 → 再利用 紙くず、木くず → 分別・破砕・焼却 → 再利用 がれき類、建設混合廃棄物 → 分別・破砕 → 再利用、最終処分 石綿含有産業廃棄物 → 最終処分

(日本工業規格 A列4番)

産業	 英廃棄物の処理に係る管	理体制に	関する	事項			
	(管理体制図)						
	別紙1のとおり						
産業	検廃棄物の排出の抑制に	関する事	項				
		【前年月	度(令	和5年原	度) 実績】		
	① 現状	産業廃	棄物の)種類	別紙2のとおり		
		排	出	量	別紙2のとおり t	t	
		(これまでに実施した取組)					
		・現場段階で排出量を抑えるように検討を行っている。					
					頁を少なくして抑制に努る		
		【目標】			<u> </u>		
		産業廃	棄物の)種類	別紙2のとおり		
		排	出	量	別紙2のとおり t	t	
	②計画	(今後実施する予定の取組)					
	少 計画	・受注した工事内容により種類、排出量が変動するが、これまでの取					
		組みと同様に計画段階で不必要な排出を抑えるように検討していく。					
		• 関係 [‡]	皆への!	教育を実	尾施していく。		
産業	薬廃棄物の分別に関する	事項					
					産棄物の種類及び分別に		
	①現状					する為に分別を行ってい でコンテナ等を活用して	
		分別して	•				
					の産業廃棄物の種類及び		
	②計画			ている¤ 別化を進	対組みを継続していくが、 生める。	混合発果物についても	
		1110.61	/ /4/		••		

自	ら行う産業廃 棄 物の再生	利用に関する事項							
		【前年度(令和5年度	度)実績】						
		産業廃棄物の種類	別紙2のとおり						
	①現状	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	別紙2のとおり	t					
		(これまでに実施した	(これまでに実施した取組)						
		なし							
		【目標】							
		産業廃棄物の種類	別紙2のとおり						
	②計画	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	別紙2のとおり t	t					
		(今後実施する予定の)取組)						
		なし							
自	う行う産業廃棄物の中間 「	引処理に関する事項 							
		【前年度(令和5年度)実績】							
		産業廃棄物の種類	別紙2のとおり						
		自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	別紙2のとおり t	t					
	①現状	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	別紙2のとおり t	t					
		(これまでに実施した取組)							
		なし							
		【目標】							
		産業廃棄物の種類	別紙2のとおり						
		自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	別紙2のとおり t	t					
	②計画	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	別紙2のとおり t	t					
		(今後実施する予定の)取組)						
		なし							
İ]	1							

自身	っ行う産業廃棄物の埋立	処分又は海洋投入処分し	に関する事項					
		【前年度(令和5年度	E) 実績】					
		産業廃棄物の種類	別紙2のとおり					
	①現状	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	別紙2のとおり t	t				
		(これまでに実施した取組)						
		なし						
		【目標】						
		産業廃棄物の種類	別紙2のとおり					
	②計画	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	別紙2のとおり t	t				
		(今後実施する予定の取組)						
		なし						
産業	* と に に に に に に に に に に に に に	関する事項						
		【前年度(令和5年度	E) 実績】					
		産業廃棄物の種類	別紙2のとおり					
		全処理委託量	別紙2のとおり t	t				
		優良認定処理業者への 処理委託量	別紙2のとおり t	t				
		再生利用業者への 処理委託量	別紙2のとおり t	t				
	①現状	認定熱回収業者への 処理委託量	別紙2のとおり t	t				
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	別紙2のとおり t	t				
		(これまでに実施した取組)						
			任先については、台帳を作 ↑は確認表で適正な業者で					

(第5面)

	【目標】			
	産業廃棄物の種類	別紙2のとおり		
	全処理委託量	別紙2のとおり t	t	
	優良認定処理業者への 処理委託量	別紙2のとおり t	t	
	再生利用業者への 処理 委託 量	別紙2のとおり t	t	
②計画	認定熱回収業者への 処理委託量	別紙2のとおり t	t	
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	別紙2のとおり t	t	
		の取組) 従前の取組みを実施して 良認定処理業者への委託を		
※事務処理欄				

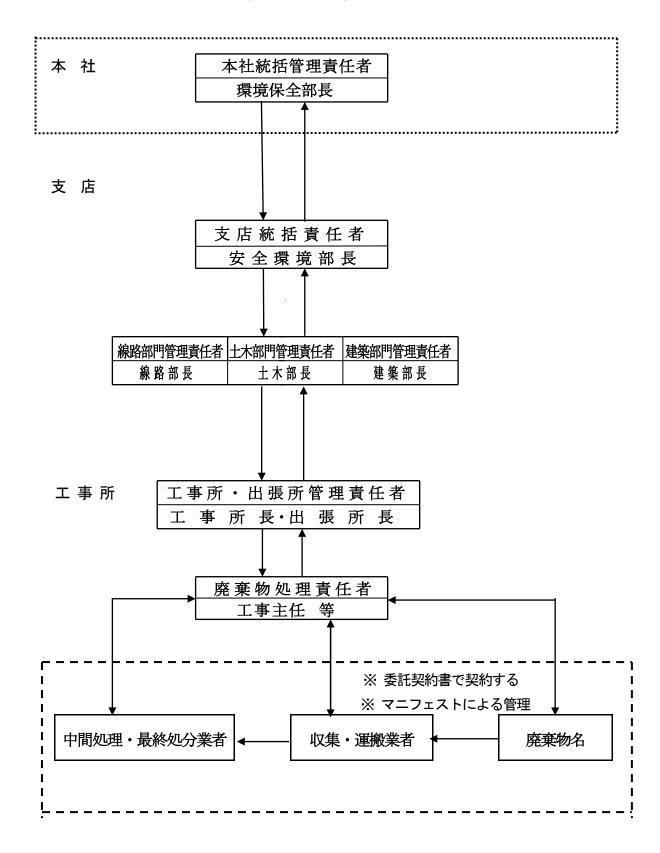
備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
- (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成 工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規 模が分かるような前年度の実績を記入すること。
- (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

埼玉支店

2024, 04, 01

建設副産物管理体制図



令和5年度実績値及び令和6年度目標値

廃棄物の種類及び実 績、目標の別			廃油		廃プラスチック類		紙くず		木くず	
排出・処理の区分	実績(t) (令和5年度)	計画(t) (令和6年度)								
排出量	0.0	0.0	0.3	0.3	13.3	12.0	0.0	0.0	56.5	50.9
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
自ら中間処理により減量 した産業廃棄物の量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
全処理委託量	0.0	0.0	0.3	0.3	13.3	12.0	0.0	0.0	56.5	50.9
優良認定処理業者へ の処理委託量	0.0	0.0	0.3	0.3	11.6	10.4	0.0	0.0	56.5	50.9
再生利用業者への処 理委託量	0.0	0.0	0.3	0.3	13.3	12.0	0.0	0.0	56.5	50.9
認定熱回収業者への 処理委託量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

令和5年度実績値及び令和6年度目標値

廃棄物の種類及び実 績、目標の別					ガラスくず、コンクリートくず 及び陶磁器類くず		がれき類		建設混合廃棄物	
排出・処理の区分	実績(t) (令和5年度)	計画(t) (令和6年度)	実績(t) (令和5年度)	計画(t) (令和6年度)	実績(t) (令和5年度)	計画(t) (令和6年度)	実績(t) (令和5年度)	計画(t) (令和6年度)	実績(t) (令和5年度)	計画(t) (令和6年度)
排出量	0.0	0.0	15.0	13.5	0.6	0.6	1,200.0	1,080.0	48.1	43.3
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
自ら中間処理により減量 した産業廃棄物の量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
全処理委託量	0.0	0.0	15.0	13.5	0.6	0.6	1,200.0	1,080.0	48.1	43.3
優良認定処理業者へ の処理委託量	0.0	0.0	3.9	3.5	0.0	0.0	68.3	61.5	33.5	30.1
再生利用業者への処 理委託量	0.0	0.0	15.0	13.5	0.6	0.6	1,200.0	1,080.0	48.1	43.3
認定熱回収業者への 処理委託量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

安定型 0.1 管理型 48.0

令和5年度実績値及び令和6年度目標値

廃棄物の種類及び実 績、目標の別	石綿含有産業廃棄物 (ガラスくず、コンクリートくず 及び陶磁器類くず)			産業廃棄物 き類)	石綿含4 (建設混名	頁廃棄物 合廃棄物)	合計		
排出・処理の区分	実績(t) (令和5年度)	計画(t) (令和6年度)	実績(t) (令和5年度)	計画(t) (令和6年度)	実績(t) (令和5年度)	計画(t) (令和6年度)	実績(t) (令和5年度)	計画(t) (令和6年度)	
排出量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1,333.8	1,200.6	
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	
自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	
自ら中間処理により減量 した産業廃棄物の量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	
全処理委託量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1,333.8	1,200.6	
優良認定処理業者へ の処理委託量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	174.1	156.7	
再生利用業者への処 理委託量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1,333.8	1,200.6	
認定熱回収業者への 処理委託量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	